

重要：Coselgi C-tune V4.x インストール前の注意

- C-tuneのインストールにはDVDドライブが必要です。**CDドライブではインストールできません。**
- 対応OS：Microsoft Windows 11または Windows 10（バージョン1607以降）
要Microsoft .NET Framework 2.0及び.NET Framework 4.7.2以降
- ※バージョン1511以前のWindows 10やWindows 8、Windows 8.1、Windows 7は、製造元サポート終了に伴い、動作対象外となります。
- ※購入直後のWindows 10 PCは、.NET Framework 2.0を含んだ .NET Framework 3.5が無効になっていますので、C-tuneをインストールする前に .NET Framework 3.5を有効にする必要があります。
下記「.NET Framework 3.5の有効化」をご確認ください。（インターネット接続が必要です。）

.NET Framework 3.5の有効化

重要 .NET Framework 3.5を有効化するには、インターネット接続が必要です。

1. Windowsキー()を押しながら「」キーを押して「コントロールパネル」を検索し、開きます。
2. 「プログラムのアンインストール」、または「プログラムと機能」をクリックします。
3. 「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。
4. .NET framework 3.5 のチェックボックスをオンにし、「OK」ボタンで閉じます。
5. 「Windows Updateでファイルを自動ダウンロードする」をクリックします。
6. インストールが終わったら「閉じる」をクリックします。

注意：C-tune V4.xのインストールには、COMPASS GPSのインストーラーを使用しています。

C-tune V4.x インストール手順

1. ダウンロードしたC-tune V4.x.zipファイルを解凍します。
2. エクスプローラー画面で、「Setup(.exe)」を右クリックし、「 管理者として実行(A)...」をクリックします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「許可(A)」または「はい(Y)」をクリックします。

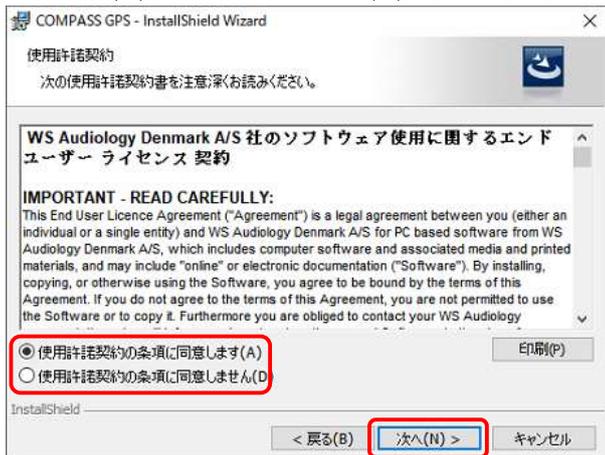


3. C-tuneに必要なソフトのインストールを行います。「インストール」ボタンをクリックしてください。
 - ※ C-tuneに必要なソフトがすでにインストールされている場合は表示されません。
 - ※ 複数回、再起動を要求されることがあります。画面表示にしたがってパソコンを再起動してください。

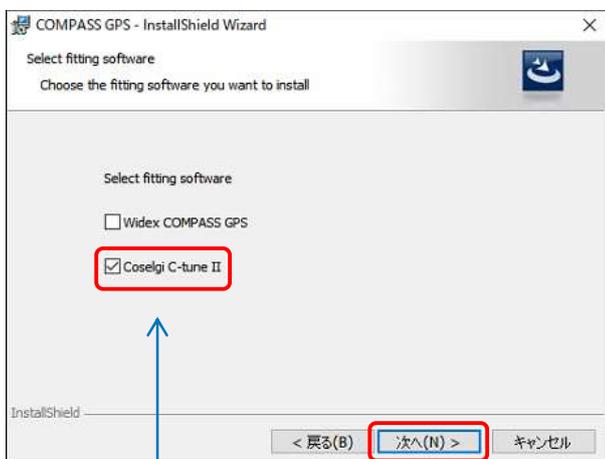
4. 「COMPASS GPS用のInstallShield ウィザードへようこそ」画面で、「次へ(N) >」をクリックします。



5. 「使用許諾契約」画面で、「使用許諾契約の条項に同意します(A)」にチェックし、「次へ(N) >」をクリックします。

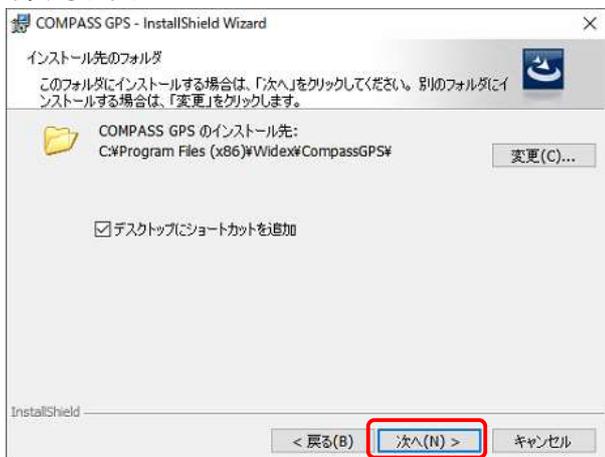


6. 「Select fitting software」画面で、「Coselgi C-tune II」にチェックを入れ※、「次へ(N) >」をクリックします。



※ COMPASS GPSをすでにお使いのパソコンの場合やCOMPASS GPSも合わせてインストールする場合は、「Widex COMPASS GPS」にもチェックを入れます。

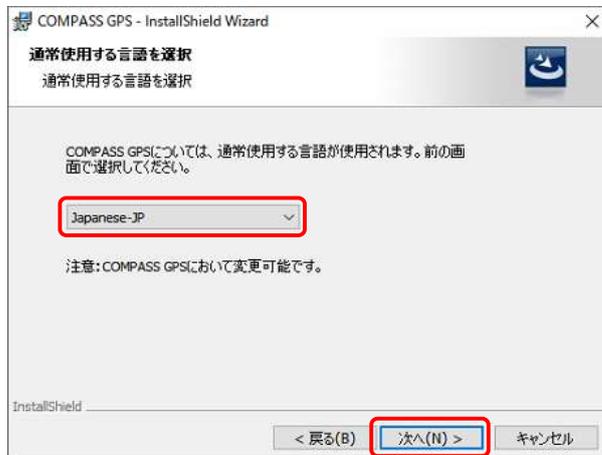
7. 「インストール先のフォルダ」画面で、「次へ(N) >」をクリックします。



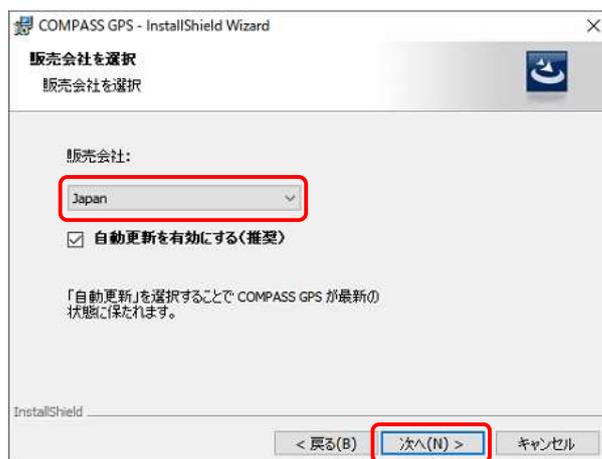
8. 「言語を選択」画面で、「Japanese - JP」が選択されているか確認し、「次へ >」をクリックします。



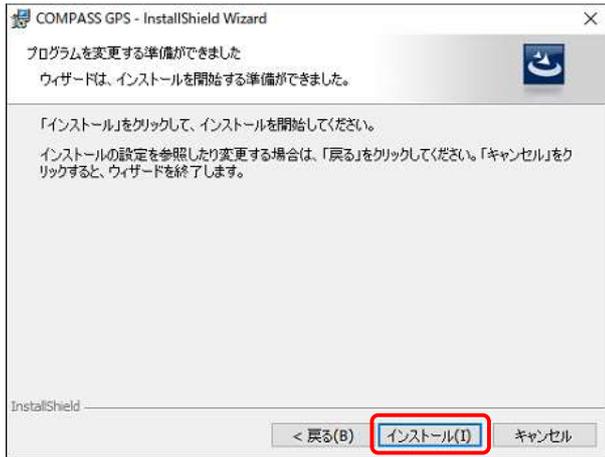
9. 「通常使用する言語を選択」画面で、プルダウンメニューから「Japanese - JP」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。



10. 「販売会社を選択」画面で「Japan」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。

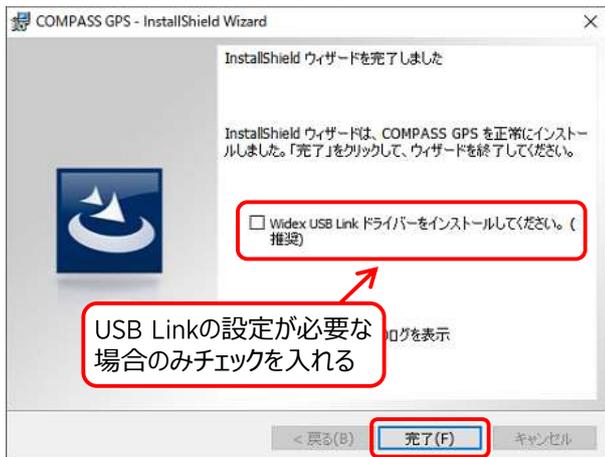


11. 「プログラムをインストールする準備ができました」画面で「インストール(I)」をクリックします。



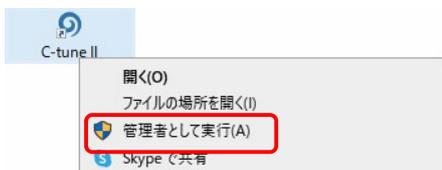
**C-tuneのインストールが開始されます。
インストール完了まで、しばらくお待ちください。**

12. 「InstallShield ウィザードを完了しました」画面で、新しいパソコンなどUSB Linkの設定が必要な場合のみ「Widex USB Linkドライバーを...」にチェックを入れ「完了(F)」をクリックします。USB Linkを既にお使いの方はチェックを入れず、「完了(F)」ボタンをクリックします。



13. 開いているウィンドウを閉じます。C-tune V4.x DVDをパソコンから取り出し、パソコンを再起動してください。
以上で、C-tune V4.xのインストールは完了です。

C-tune V4.xを新規でインストールした場合は、初回起動時のみデスクトップ上の「C-tune II」アイコンを右クリックし、「管理者として実行(A)」をクリックしてください。



ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「許可」または「はい」で先にお進みください。

Mojoシリーズの表示と日本語表記の修正

Mojoシリーズは、実器をC-tune 4.xに接続するまで表示されません。下記操作を行うことで実器を接続しなくても、C-tune 4.xにMojoシリーズを表示することができます。また、C-tune 4.xの表記がわかりにくい箇所があります。下記手順で修正できます。

1. 解凍したC-tune V4.xフォルダを開きます。



2. エクスプローラー 上部の「表示」タブの「ファイル名拡張子」「隠しファイル」のチェックを入れます。



3. 「Mojo表示化ファイル」フォルダを開きます。



4. 「Detected.xml」ファイルを右クリックし、「コピー(C)」をクリックします。

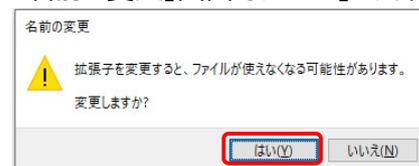


5. エクスプローラー画面の左側のフレームで、PC → Cドライブ※ → ユーザー → ユーザー名 → AppData → Roaming → Widex → CompassGPSの順にフォルダを開きます。
※ Cドライブは、Windows(C:)やOS(C:)、ローカルディスク(C:)等ドライブ名の最後が(C:)になっているドライブです。

6. 「Detected.xml」ファイルを右クリックし、名前の変更で「Detected.old」に変更します。



7. 「名前の変更」画面で、「はい」をクリックします。



8. CompassGPSフォルダ内の空いているところで右クリックし、「貼り付け(P)」をクリックします。



CompassGPSフォルダ内に Detected.xmlファイルが追加されれば、C-tune 4.xにMojoが表示されます。

14. CompassGPSフォルダ内の空いているところで右クリックし、「貼り付け(P)」をクリックします。



CompassGPSフォルダ内にja-JP.xmlファイルが追加されれば、日本語表記の修正は完了です。

続いて、日本語の修正ファイルの置き換えます。

9. 解凍したC-tune V4.xフォルダに戻り、「日本語表記修正ファイル」フォルダを開きます。



10. 「ja-JP」ファイルを右クリックし、「コピー(C)」をクリックします。



11. エクスプローラー画面の左側のフレームで、PC → Cドライブ※ → Program Files(x86) → Widex → CompassGPS → Languages → ja-JPの順にフォルダを開きます。

12. ja-JP.xmlファイルを右クリックし、「名前の変更(M)」で「ja-JP.old」に変更します。



13. 「名前の変更」画面で、「はい」をクリックします。

